

# サケの「稚魚」のペットボトルの飼育のしかた

—サケ稚魚がふ化する瞬間が見られるかも—

## 稚魚の変化

☆持ち帰ってしばらくすると、卵の中で稚魚がぐるぐると動き出す。

☆卵が割れて稚魚がニュット出て、ふ化が始まる。

☆ふ化しても、おなかに大きな栄養の袋を持っていて、じっと横になっている。

☆お腹の袋が小さくなると、底の付近をくるくると泳ぎだす。

☆お腹の袋がほとんど無くなると浮き上がって泳ぎます。

そろそろ放流する時期です。

## ペットボトルの置き場所

☆暖房のない廊下や玄関の涼しいところに置く。目安は 10℃

☆日の光りが当たらないところで、箱をかぶせたり、この紙を巻いて遮光する。

新聞紙

※サケの卵やふ化した稚魚は寒い冬の間を川の砂利の中で春になるのをじっと待っています。

※冬休みが終わったら学校の氷そうに入れます

## 放流

☆ ペットボトルは小さいので「えさ」をやって育てることは出来ません。

☆ 家の近くで、海に通じている川や用水に放流しましょう。

放流した川の水のおい覚えていて、3～4年後に帰ってくるかも。

※放流は学校からみんなで出かけます。

◎ 毎日、ちょことだけ巻紙をあけて稚魚の変化をかんさつしよう。

◎ サケがまた帰って来ることが出来るように川を汚さないようにしましょう。

わからないことがあったら電話やFAXで問い合わせてください。

石川県水産総合センター美川事業所

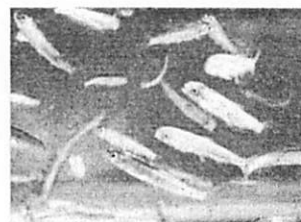
電話 076-278-5888 FAX 076-278-4301



紙でおおいをして遮光する



ふ化稚魚 (1ヶ月位ペットボトルの底に横たわって泳いで、時々旋回するように泳ぐ)  
→この時期は餌は食べない。お腹の栄養で育つ)



浮上稚魚 (お腹の袋が無くなって中層を泳ぎはじめたら放流する)

## サケの稚魚のかんさつ記録をつけよう

1) サケの卵をもらった日 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日  
(黒い目玉がふたつ見えるかな?)

2) 卵の中で稚魚がぐるぐると動き始めた日  
\_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

3) サケがふ化した日 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

4) サケの稚魚が浮いて泳ぎだした日  
\_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日